

語学の、 その先を学ぶ

特集一 **關西** 関西外国語大学

大阪府枚方市にキャンパスを構える関西外国語大学。その前身である谷本英学院は、終戦直後の1945年(昭和20年)に、二度と戦争を繰り返してはならないという決意を「外国語教育」に託し建学された。創立から約70年、国際人の育成と実学重視をうたい、毎年、国際通用力を備えた人材を数多く輩出している。

<学部・学科>

英語キャリア学部

英語キャリア学科

小学校教員コース

外国語学部

英米語学科

スペイン語学科

国際言語学部

国際言語コミュニケーション学科

短期大学部

英米語学科

大学院

外国語学研究所

2,000人の収容能力をもつ谷本記念講堂。授業や式典に加え音楽会、演劇などの利用が可能な舞台機構や設備を完備している



夢を引き寄せるキャンパス

時代と社会の要請に応える学び場

関西外国語大学は、大阪府枚方市に2つのキャンパス（中宮キャンパス、学研都市キャンパス）を構え、約13,000人の学生と外国人留学生が学んでいる。メインキャンパスとなる中宮キャンパスは、近接していた片鉾キャンパスを移転する形で2001年12月に竣工した。

中宮キャンパスは、約23万平方メートルの敷地に、大学生活を充実させる様々な施設が集約され「教育・研究の場」であると同時に学生や留学生の「交流の場」、「生活の場」を形成して

いる。

正門から続くセントラルガーデン越しにそびえる本館を中心に配された15棟の施設は、格調高いデザインで統一されアカデミックな落ち着きに包まれている。

キャンパスは竣工後も進化を続けている。2012年には、地域との交流や教職教育の中核施設としてICC（インターナショナル・コミュニケーション・センター）が設けられた。また、2013年8月に完成した教室棟7号館には、少人数教室が並び、その1階お

よび地階には、就職、進学等の進路相談を受け付けるキャリアセンターが移転された。学生一人ひとりの学びや将来計画を全力で支えるという、大学側の姿勢が表れている。

「ICCにも7号館にもゆったりとした学生ラウンジを設けています。いずれもオープン時から盛況で、国籍・年齢を問わず学生同士が様々な言語で交流している姿は、本学の特長な風景だと思います」と、学校法人関西外国語大学 砂村庶務部長は話す。



1 交流の拠点となる厚生棟。トップライトには最大出力20KWの太陽光発電装置が組み込まれている 2 充実した資料ときめ細かい指導を誇るキャリアセンター 3 公道に面して立つICC外観。誰でも利用することができるレストランカフェが併設されている 4 図書館情報センター（5号館）。蔵書数は約40万冊。そのうち半数以上が洋書



関西外国語大学

鹿島建物管理概要

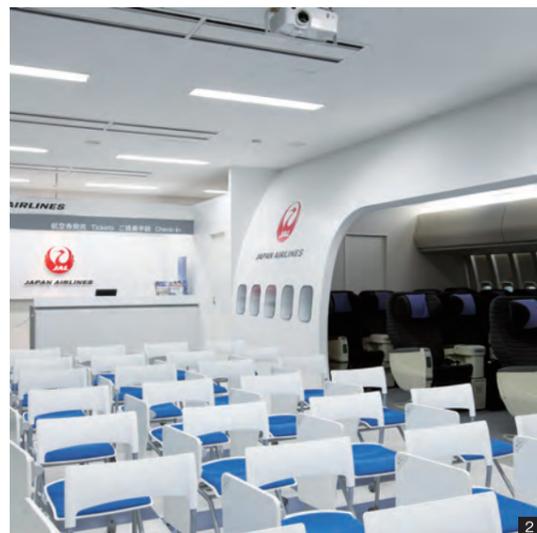
管理開始 2002年4月
管理内容 常駐設備管理
常駐警備
管轄 関西支社

建築概要

施設名称 関西外国語大学 中宮キャンパス
所在地 大阪府枚方市中宮東之町 16-1
主要用途 学校（大学）
建築主 関西外国語大学
設計 日建設計
施工 鹿島・竹中・三井住友・鴻池組による
4工区分
面積 校地面積 236,269㎡
校舎面積 124,946㎡
構造 S造、RC造、SRC造
主要棟数 15棟
教室数 260教室
住居数 住宅81居、宿泊14室
地下共同溝 設備用3×4.5m、全長800m

主要設備概要

電気設備 特高22KV 2回線受電
特高TR 4,000KVA
電気室 10箇所
衛生設備 受水槽 160㎡×2槽
加圧給水方式、井水濾過設備
空調設備 ガス吸収式冷温水発生機 500RT×4台
空冷ヒートポンプチラー 3台（計250RT）
蓄熱槽 1,640㎡



1 ネイティブ教員による外国語授業 2 エアライン演習室
3 キャンパスには多くのラウンジやベンチが設けられている
4 小学校教員養成の設備も完備 5 キャンパス内の主要な施設は回廊でつながっている

50カ国・地域の提携校からの外国人留学生の拠点となる国際交流センター。
1階のラウンジは、いつも留学生と日本人学生のやり取りで賑わっている

国際通用力を身につける



生きた外国語で、実学を学ぶ

関西外国語大学では、外国人留学生と机を並べ、ネイティブの教員から「生きた外国語」を学ぶ環境が整っている。同世代の留学生から「世界」について聞き、一方で彼らに「日本」の文化を伝えるというこの学校の日常が、真の国際人としての素養を身につけることにつながっている。

実学を重視する関西外国語大学は、語学を習得するだけでなく、英語で考え、英語で自分の意見を伝えることができる人材の育成に力を注いでいる。学生たちは、英語をツールとして自分の将来を見据えた専門分野を学び、この大学を巣立っていく。

2013年4月には、英語キャリア学科に小学校教員コースが開設された。小学校での英語教育の必修化に対応する「英語が使える小学校教員の養成」というニーズに応えるためである。

子供たちにグローバル社会への対応力をつけさせることができる小学校教員を育成するため、このコースでは、小学校教育の知識に加え、多文化共生理解や英語コミュニケーションなどの国際教育が行われている。



留学生派遣数の多さも、関西外国語大学が実学を重視している表れである。「キャンパスは“ちきゅう”」を合言葉に、年間1,800人の学生が世界50カ国・地域の提携校に留学している。

「留学を経験した学生は度胸が違います。それは就職先の企業から多く聞こえる声です。留学先では自分をアピールしなければ埋もれてしまいますし、成績が悪ければ即日本に帰国となります。そのような環境下で自分の殻を破ってきた学生は、帰国したら別人のように成長しています」と、砂村庶務部長。



要望に応えるチカラ

格調を乱さず、しっかり守る

増本 関西外国語大学で毎日働く者として日々感じるのは、施設は隅々まで整えられ、凛とした美しさに満ちているということです。

庶務部長 砂村様 確かに大学にありがちな落書きやポイ捨ては本校ではあまり目につきませんね。

増本 中宮キャンパスのオープン前に見学させていただいた片鉾キャンパスもきれいなキャンパスでした。

広報室 荒木様 本校は昔からそういう細かいところまできちんとしようと気を配ってきました。ですから、鹿島建物さんにもかなり細かい依頼をして困らせてはいませんか？

増本 とんでもありません。中宮キャンパスは、ほぼすべての棟が同時に竣工した建物群ですし、地下共同溝や中央監視室が整っており、設備管理がしやすい施設といえます。目に見えない空調や照明の管理といった面からもこの学校の校風を維持していきたいと思っています。



地下共同溝。水道管、冷水管、電気配線等が構築され、エネルギーの搬送、高度情報化、将来の改修のローコスト化に役立つよう計画された

習熟したスタッフを育成する

増本 関西外国語大学が守ってこられた校風は、今も学生さん達にしっかり受け継がれているように感じます。学園祭の照明や電気設備の設営依頼なども、実行委員会を中心に組織化されていて、スムーズにお手伝いすることができています。

砂村 今年の学園祭も盛り上がっていましたね。講堂でのイベント時の照明や音響も鹿島建物さんをお願いしています。

増本 谷本記念講堂は、オーケストラや演劇の利用ができる本格的な舞台・照明・音響装置が導入されていて、管理当初は、その操作方法にかなり戸惑いました。

荒木 入学式、卒業式、学祭に加えて英語劇やコンサート、講義など利用する回数も多いですね。

増本 中宮キャンパスの管理を当社が開始してすぐに谷本記念講堂での入学式が予定されていたため、1カ月前の卒業式を見学させていただき急遽、独自でマニュアルを



作成して対応したことがありました。現在では、操作を習熟したスタッフも育成できましたし、催事毎のマニュアルを作成して、全スタッフで訓練を積んでいます。

荒木 学研都市キャンパスの設備と警備も鹿島建物さんをお願いしているんですね。

増本 学研都市キャンパスの管理や改装などの工事をお任せいただきました。管理開始当時は不慣れなことも多く、私自身この現場で学校施設管理について多くを教えていただいたと思っています。キャンパスはオフィスビルなどと違い、学生の母校として生涯記憶に残る建物です。学生一人ひとりが安心して楽しい大学生活が送れるよう、これからも職員一丸となって業務にあたりたいと思います。



谷本記念講堂の照明位置調整作業。講堂の使用目的の向きや角度を調整する



中央監視室。キャンパス内すべての空調、電気設備を管理している



鹿島建物総合管理 関西支社
関西外国語大学中宮学舎管理事務所
所長
増本 賢二

学校法人 関西外国語大学
広報室長
荒木 茂様

学校法人 関西外国語大学
庶務部長
砂村 賢司様